

令和４年度第１回芽室町総合計画審議会 議事録

令和４年５月１８日（水）１８：３０～１９：３０

芽室町役場２階会議室７・８

■出席委員（１４名）

明瀬委員、岡田委員、小椋委員、小池委員、小林委員、白金委員、珠玖委員、高道委員、鳥本委員、貫田委員、林委員、廣江委員、松山委員、佐藤委員

■欠席委員（１名）

鈴木委員

■事務局・説明員

石田政策推進課長、村上政策調整係長、佐藤主事

佐々木総務課長、中島総務課長補佐兼危機対策係長、西田魅力創造課長、渡邊魅力創造課長補佐兼魅力発信係長、佐藤都市経営課長、仲野商工労政課長、有澤教育推進課長、日下生涯学習課長、松久消防署長

■１ 開会及び会長あいさつ

■２ 事務局説明

会長

議案２について事務局から説明する。

事務局

（資料１～資料３について説明）

会長

ただ今の説明について質問等はないか。

委員

（質問なし）

■３ 調査事項（１）後期実施計画（素案）について＜資料４＞

会長

議案３について事務局から説明する。

事務局

説明員の都合上、議案記載の施策⑫～⑭を先に審議していただき、その後①～⑪と進め

ていただく。

⑫災害に強いまちづくりの推進(4-1-1)

(質問・意見なし)

⑬消防・救急の充実(4-1-2)

(質問・意見なし)

⑭暮らしの安全・安心の確保(4-1-3)

(質問・意見なし)

①徹底した情報共有と町民参加の促進(5-1-1)

委員

町が新型コロナウイルス感染情報を発信しているが、何を伝えたいのかが分からない。「このようなことに気を付けてください」というような情報提供がほしかった。小中学校の感染状況はわかるが、高校や保育園、幼稚園も休みになっていることなども人づてに聞いた。感染予防として行動に移すための情報がほしい。

政策推進課長

町も全ての情報を把握しているわけではない。町の施設の感染状況は分かるが、それ以外の高校、幼稚園、町立以外の保育所は情報を持ち合わせていない。また、皆さまの欲しい情報を持ち合わせていないのが現状である。十勝で感染者が増えているなどの情報をできるだけ発信しているが、引き続き皆さまの欲しい情報を発信できるように努力したい。

委員

3月に子どもたちの感染から家族に広がっているという情報発信があり、そのような情報提供は分かりやすくて良かった。

②住民自治の実現と地域の活力の維持(5-1-2)

委員

資料4「3 施策の主な内容」(1)に記載の自治活動の拠点とはどのように考えているのか。

魅力創造課長

町民が集まりやすい場所が必要と考えており、公民館に町民活動支援センターを移した。これからも町民活動のよりどころになるよう考えていきたい。

③効果的・効率的な行政運営(5-2-1)

(質問・意見なし)

④健全な財政運営(5-2-2)

(質問・意見なし)

⑤親切・便利な行政サービスの推進(5-2-3)

委員

役場に電話した際、電話を受けた職員が自分の名前は名乗らないいうえ、こちらの名前は聞かれる。行政サービスとしていかがなものか。

総務課長

職員には電話を受けた際に課名と名前を名乗るよう周知しているが、そのような事例があったということは申し訳なく思う。今後引き続き全職員に対して徹底していきたい。

委員

電子自治体の推進や電子入札の実現性の研究について、時期の目途はいつ頃なのか。

総務課長

具体的な時期の目途は定めていないが、令和8年度までには芽室町の規模に合っているかという視点や他自治体の事例なども研究し、可能となれば実施したいと考えている。

⑥シティプロモーションの推進(5-3-1)

委員

資料4「3 施策の主な内容」(3) 3点目において「ふるさと会の課題解決」の記載があるが、喫緊の課題としては会員の高齢化及び会員の減少が挙げられる。町において、課題解決に向けた具体的な取組などはあるのか。

魅力創造課長

東京芽室会については色々な相談を受けており、可能な限り支援をしていきたいと考えている。関係人口・交流人口の増加にも繋がることから、町としては今まで以上に4つのふるさと会の周知活動を行う。今まで広報誌しか載せていなかったため、ホームページの掲載を実施する。そして、まずは町民の方がふるさと会のことを知っていただくことで、親戚などに紹介してもらえることもあるかもしれないと考えている。

また、芽室から道外に出ている大学生などもいることから、他団体で実施している縁がある方とのファンサイトなどのデジタルも活用しながら進めていきたい。

⑦国際・地域間交流の推進(5-3-2)

(質問・意見なし)

⑧学校教育の充実(2-1-1)

委員

感想になるが、昨日学校運営協議会に参加し、色々な話し合いがなされた。今の協議会になって熟議が進んでいて良かったと思う。また、最初は学校に地域の方が入ることに心配があったが、積極的に動けており、コーディネーターが地域の方を繋いでいるからだと思う。教員からの声は聞けていないが、非常に良い取組だと感じた。

教育推進課長

教員の思いをお話させていただくが、働き方改革、PTA、学校運営協議会などにより、生徒と向き合う時間の確保ができています。これからも地域の方に協力いただきながら、子どもたちの育成方針などを学校・地域・保護者で考えていきたい。

生涯学習課長

地域学校協働活動の担当としては、①学校と地域が協力して子どもたちの育みを支えること、②地域のコミュニティが活性化されること、③教員の負担軽減のために、積極的に進めている。それは役場や学校だけでなく、コーディネーターの活躍が大きい。これからもコーディネーターを中心に進めていきたい。

委員

資料4「4 施策の成果指標」③（「朝食を毎日食べている」と回答した児童生徒の割合）について、町の取組と子どもたちが朝食を毎日食べることが繋がりにくいと思う。地域と学校の繋がり（コミュニティ・スクール）について、何らかの形で成果指標を設定した方がよいのではないかと。

教育推進課長

「2 施策の方針」の意図欄（確かな学力、豊かな心と健やかな体を育み…）の記載を表した指標を設定している。「健やかな体」の指標として内部でも検討したが、体力測定の結果などではなく、食事をもって健やかな体を作っていただくという視点で前期実施計画から継続して設定している。コミュニティ・スクールはあくまでも結果に向けた手段であると考えており、施策の大枠となる現在の成果指標3つで進めていきたいと考えている。

⑨社会教育の推進(2-1-2)

（質問・意見なし）

⑩地域文化の振興(2-2-1)

委員

資料4「1 現状と課題」に記載している「資料の収集・保存」は非常に大事なことでと考えている。町民活動支援センターで、明治期に開拓された方の講座、戦後、芽室に入った方の講座を行った。1つの講座を作る際に、映像にしたり文字化するなど相当な時間がかかる。アイデアを発案したり、技術的な作業に加え、しっかりと担うところがないとできない。町としてはどのように進めていこうと考えているのか。

生涯学習課長

歴史を学ぶということと、記録を残すことの両方がある。教育委員会としては歴史を学ぶ機会として、継承される方からお話を聞くことや、書物から学ぶことが挙げられる。また、役場では記念誌として残していく担当部署もあり、デジタル化して長期保存ができるようにしながら、学ぶ機会を確保することに努めていきたい。役場の中においては、教育部門と記念誌を作る部門で情報共有しながら進めていきたい。

委員

専門家が必要だと感じる。そういうことも含めて検討していただきたい。今後数年間で実施していかないと、歴史の継承が失われていくと思う。

⑪スポーツしやすい環境づくり(2-2-2)

委員

資料4「3 施策の主な内容」(3)に記載の「ゲートボール再生プロジェクト」と「挑

戦の流儀」について内容を教えてほしい。

生涯学習課長

日本ゲートボール連合が取り組む、競技人口が大幅に減少していることから再生させるためのプロジェクトがある。また、発祥の地である芽室町としても同様に、競技人口の減少から競技として残していくための再生計画を策定している。計画（素案）に詳細は記載していないが、令和３年度からの４年間で取り組んでいく。

■ 4 その他

会長

以上で本日の調査事項が全て終了した。今後のスケジュールについて、事務局より説明をお願いします。

事務局

資料に沿って説明。

会長

今の説明に関して何か質問や意見はあるか。

（質問なし）

■ 5 閉会

会長

それでは、これで本日の審議会を終了する。

19:30